

1. 件 名：訓練のあり方及び規制の関与の検討に係る試行について

2. 日 時：令和4年11月8日 14:00～15:00

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室 川崎企画調整官、反町専門職

実用炉監視部門 菊川補佐

核セキュリティ部門 廣瀬補佐

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 防災安全グループ 課長

北陸電力株式会社

原子力本部 原子力部 原子力防災チーム 統括（課長） 他2名

関西電力株式会社

原子力事業本部 安全・防災グループ マネジャー 他5名

中国電力株式会社

電源事業本部 原子力運営グループ マネージャー 他5名

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力防災グループ グループ長 他4名

5. 要 旨

中国電力から、11月15日に島根原子力発電所で実施する事業者防災訓練において試行する「実発災を想定した広範囲な支援組織との連携」について、資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から、次回の公開会合で試行の状況について報告を求め、また規制庁から具体的な指標について示すことを検討している旨を申し伝えた。

中国電力から、承知した旨の回答があった。

6. その他

配布資料：

資料 1 令和4年度島根原子力発電所総合防災訓練における支援組織との連携訓練について（中国電力株式会社）